



都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業

企業や大学、若者支援に関する専門的知識や経験を有するNPO等の支援団体と連携し、都立高校生が社会や職業について、実感を持って理解しながら、将来社会人・職業人として生活していくために必要な能力等を身に付けることができる教育プログラムを実施しています。

平成25年度から開始した「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」(以下「自立支援教育プログラム事業」という。)は、今年度で4年目となり、60を超える支援団体の協力を得て、多くの都立高校で活用されています。



企業・NPO等と連携したキャリア教育の推進を目指して

東京都教育委員会は、平成28年2月に「都立高校改革推進計画・新実施計画」を策定しました。これは、教育基本法の理念を踏まえ、都立高校が生徒を「真に社会人として自立した人間」に育成することを目的として、平成28年度から平成30年度までの3年間の計画についてまとめたものです。

三つの目標の中で、目標Ⅰとして「次代を担う社会的に自立した人間の育成」を掲げ、具体化するための取組の方向「企業・NPO等との連携によるキャリア教育の推進」の一つに、自立支援教育プログラム事業が位置付けています。

この事業を進めていくキャリア教育を通して育成する力について、文部科学省では「基礎的・汎用的能力」として具体的に多くの能力を例示しています※1。

高校生が、このような能力を付けるとともに、実際の社会の姿を学び、より良い生き方を選択し行動していく意欲を持つことができるよう、「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」(コラム)の会員団体である企業や大学・NPO等と学校との連携を進め、幅広いテーマでこの事業がより効果的な実施となるように、教育プログラムの充実を図っています。

多様な教育プログラム

自立支援教育プログラム事業には、3ページに掲載している例のような内容の教育プログラムが100以上あり、複数のプログラムを組み合わせ活用できるようになっています。

また、実施に当たっては事前に学校と支援団体とで打合せを行い、生徒の様子や活用する時期、前後の学習活動等に合わせ、教育プログラムを効果的に活用できるよう、内容や進行、使用する教材等をアレンジして実施しています。

この事業が4年目となり、学校のニーズに沿って支援団体が工夫し、内容を変えてきた教育プログラムも数多くあります※2。4ページから紹介していきます。



コラム 地域教育推進ネットワーク東京都協議会

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」は、企業・大学・NPO等とのネットワークを作り、子供たちに、豊かで多様な体験学習活動が提供できるようにサポートし、活性化していく仕組みづくりを目指して、東京都教育委員会が平成17年8月に設置しました。現在、450を超える企業・大学・NPO等とのつながりへと広がっています。

地域教育推進ネットワーク東京都協議会の事業として、毎年、教育関係者と、小学生から高校生までを対象とした教育プログラムを提供する企業等の担当者などが情報交換する機会として、「教育支援コーディネーター・フォーラム」を開催しています。

今年度のフォーラムは、平成28年12月11日(日)に都庁で開催予定です。詳細については、ホームページ等でお知らせします。

詳細は で御覧ください

※1 キャリア教育

★キャリア教育とは
一人一人の社会的・職業自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達*を促す教育
*キャリア発達 社会の中で自分役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

★キャリア教育を通して育成することが期待される「基礎的・汎用的能力」
分野や職種に関わらず、社会的・職業的に自立するための必要な基礎と能力

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力
例) 他者の個性を理解する力、他人に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等	例) 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等
課題対応能力	キャリアプランニング能力
例) 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追及、課題発見、計画立案、実行力、評価、改善等	例) 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択・行動と改善等

★キャリア教育の実施に当たっては、社会や職業にかかわる様々な体験的な学習活動の機会を設け、それらの体験を通して、子供・若者に自己と社会の双方についての多様な気付きや発見を得させることが重要である。

平成23年1月 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」より

※2 「多様な教育プログラム」の例

働くことの意義や役割の理解

- 各教室に社会人が入り、生徒と質疑応答がしやすい形での講演を聞く。
- 体育館等の広い会場に、20名程度の社会人がコーナーを作り、生徒は3名の社会人から25分ずつ話を聞く。事前学習の時に、社会人のプロフィールを紹介し、興味のある講師を事前に選んでおく。
- 新入社員から、大学生活や仕事を選んだ理由、現在の仕事についての話を聞く。
- 社会人と生徒代表がパネラーとしてディスカッション、出された課題についてグループで話し合い、発表する。



将来設計

- お金について考える。ライフプランや将来の家計のシミュレーション、経済や金融の仕組み、株式の仕組み
- 労働法、賃金、保険等

学ぶことの意義を考える

- 大学生から、実際に使っているテキストや教材、時間割、写真等を使った大学生生活の紹介と将来の夢等について聞く。
- 大学の通常の講義に参加する。
- 就職内定者から、高校時代の過ごし方、大学の選び方等を聞く。
- 複数の専門学校が設置した職業別ブースで、職業人の指導の下、複数の職業を体験する。

コミュニケーション・スキルの向上

- ゲーム的な内容から、小グループでの発表までを複数回で取り組む。
- いくつかのゲームで身体を動かす、短い演劇のシーンを創作し、発表する。



課題対応能力の向上、自己の役割の理解

- 実在の企業から出されたミッションに、チームで取り組み、企画を提案する。
- 模擬会社を作り、企業活動を体験する。社会人が社外取締役としてサポートする。
- 学校や地域の課題を調べ、解決するための方策について話し合い、発表する。



学校外の体験活動に参加する

- 企業を訪問し、見学と課題解決プログラム等を体験する。
- 支援団体が実施する高校生対象のプログラムに参加する。